

領域・小問ごとの分析	対策の視点
半径が分からないための誤答が多く、正答率は59%である。	
3. 立方体の体積 正答率は41%と低い。公式が正しく理解されていないことや単位の付け忘れによる誤りが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 公式を正しく覚えさせること、問題をよく読む習慣をつけさせることが大切である。
4. 箱の容積 箱の内りを考えず、与えられた辺の長さのまま、容積を求めた児童が殆んどである。正答率は18%と低い。	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 容積の概念、ふたのない箱の内りなど、丁寧な指導を望みたい。
5. 面積の概測 正答率は27%で、よく理解されていない。誤答は56、57、570などで、上から2けたの概数、四捨五入の理解が不十分なためと思われる。	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 四捨五入の指導は形式的にならないよう、これを用いる目的や良さをよく理解させたい。
6. 平均値 正答率は66%で、平均値の意味はほぼ理解されている。誤答では、数計算の誤りが目立つ。	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 計算は、速く、正確に出来るよう訓練を積みませたい。
7. 速さを比べる 与えられた距離と時間を使って速さを比べる問題である。正答率は39%と低く、速さの概念がよく理解されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 時間又は距離をそろえて比べることはできるが、ここでは単位量あたりの距離を用いて比べる指導が大切である。
8. 速さを求める 分速を求める問題であるが、正答率は20%と前問より劣っている。正答率の低い原因として、単位に対する不注意が考えられる。問いの中の単位と答えの単位が違うこ	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 問題をよく読み、題意を正確にとらえる習慣をつけさせたい。